

参考資料3 コンテナ貨物量・航路数の将来推計

(1) コンテナ貨物量の将来推計

1) 現状分析

四国港湾における外貿コンテナ貨物量の推移

四国の港湾で取り扱われる外貿コンテナ貨物量は、1995年から2005年の10年間に約5倍と、全国の外貿コンテナ貨物量の伸び(1.5倍)と比較して非常に大きな伸びとなっている。

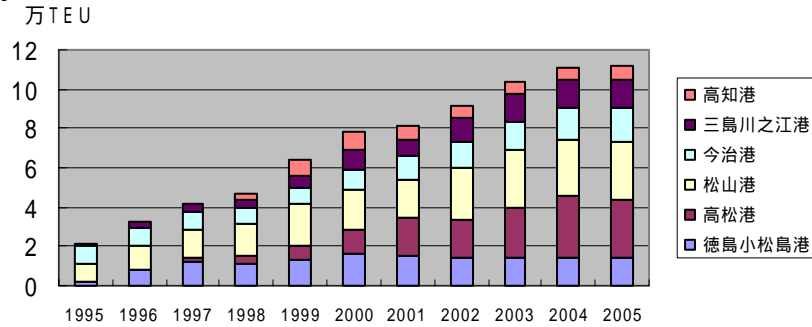


図 - 3.1 四国の外貿コンテナ取扱量 (輸出入計)

四国生産・消費コンテナ貨物と利用港湾

コンテナ流動調査により四国生産・消費コンテナ貨物と利用港湾を見ると、四国で生産・消費されるコンテナ貨物量が増えていること、四国港湾の利用率が上がっていることが分かる。

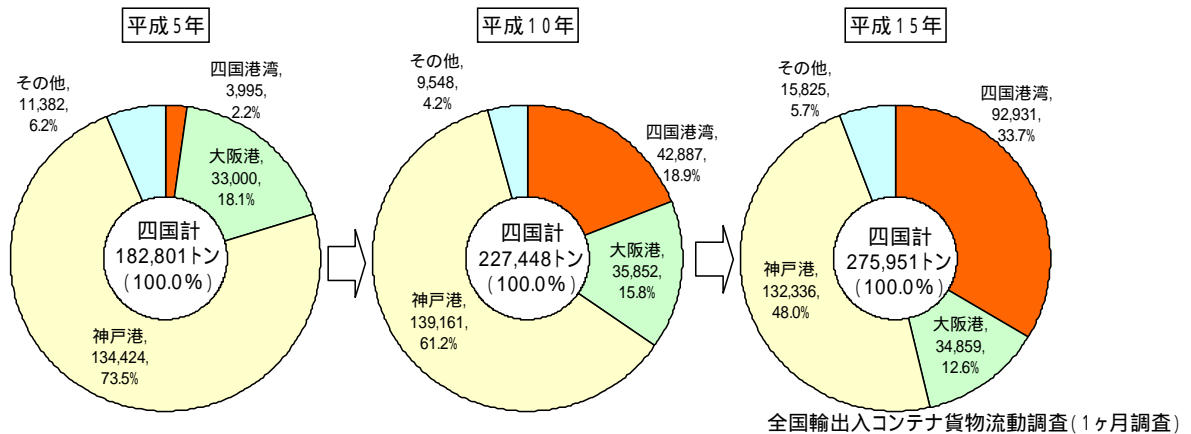


図 - 3.2 四国で生産消費されるコンテナ貨物港湾取扱比率 (輸出入合計)

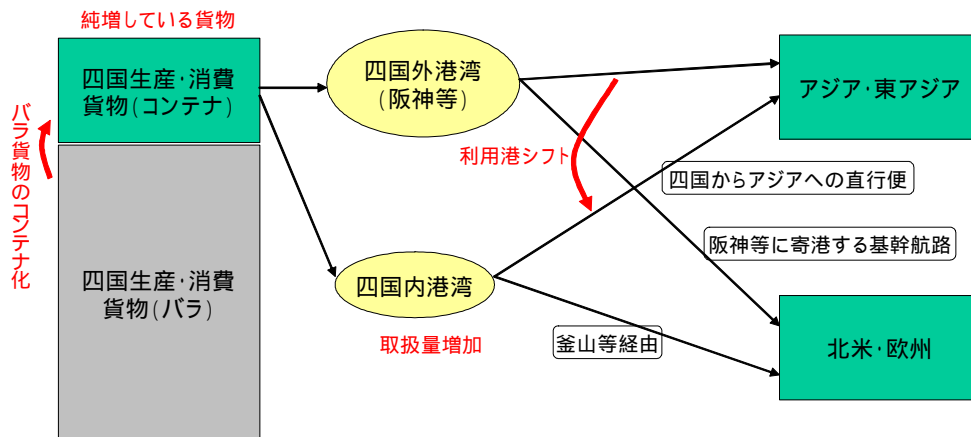
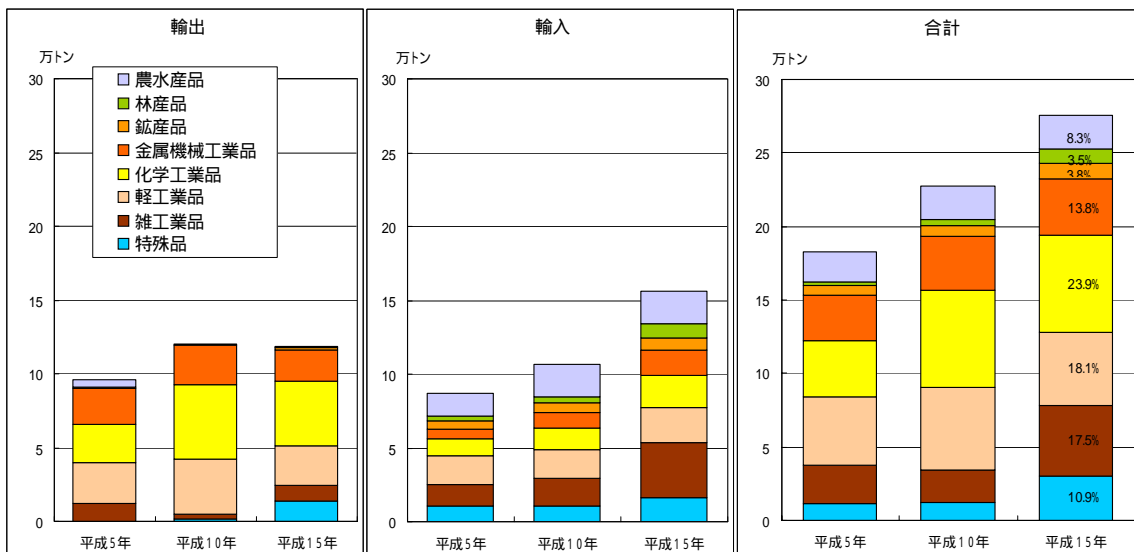


図 - 3.3 四国の外貿コンテナ貨物増加要因概念図

四国生産・消費コンテナ貨物の品目別貨物量

四国生産・消費のコンテナ貨物を品目別で見ると化学工業品の輸出、林産品の輸入、雑工業品の輸入の伸びが顕著となっている。



(単位:トン数)

| 品目      | 平成5年   |        |         | 平成10年   |         |         | 平成15年   |         |         |
|---------|--------|--------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
|         | 輸出     | 輸入     | 計       | 輸出      | 輸入      | 計       | 輸出      | 輸入      | 計       |
| 農水産品    | 4,748  | 15,631 | 20,379  | 485     | 22,224  | 22,709  | 762     | 22,208  | 22,970  |
| 林産品     | 24     | 2,841  | 2,865   | 55      | 4,334   | 4,389   | 61      | 9,500   | 9,561   |
| 鉱産品     | 923    | 5,356  | 6,279   | 884     | 6,290   | 7,174   | 2,145   | 8,290   | 10,435  |
| 金属機械工業品 | 24,340 | 6,909  | 31,249  | 26,628  | 10,117  | 36,745  | 20,745  | 17,293  | 38,038  |
| 化学工業品   | 26,443 | 11,400 | 37,843  | 50,453  | 15,103  | 65,556  | 44,440  | 21,639  | 66,079  |
| 軽工業品    | 27,678 | 19,387 | 47,065  | 37,254  | 19,709  | 56,963  | 26,485  | 23,382  | 49,867  |
| 雑工業品    | 11,548 | 14,492 | 26,040  | 3,705   | 18,208  | 21,913  | 10,794  | 37,606  | 48,400  |
| 特殊品     | 301    | 10,780 | 11,081  | 1,223   | 10,776  | 11,999  | 13,664  | 16,411  | 30,075  |
| 分類不能    |        |        |         |         |         |         |         | 526     | 526     |
| 合計      | 96,005 | 86,796 | 182,801 | 120,687 | 106,761 | 227,448 | 119,096 | 156,855 | 275,951 |

図 - 3.4 四国生産・消費品目別コンテナ貨物量

品目別に見てみると、化学工業品は「化学薬品」の伸びが顕著であるが、港湾統計においても堅調に伸びており、化学工業は製造品出荷額も増えていることから、背後企業の増産に伴うものと考えられる。

林産品においては「製材」の伸びが顕著であるが、これは港湾統計の推移より似姿が原木から製材に変化し、コンテナ化されているものと考えられる。

雑工業品は「衣服・身廻り品・はきもの」が伸びており、港湾統計においても同様である。

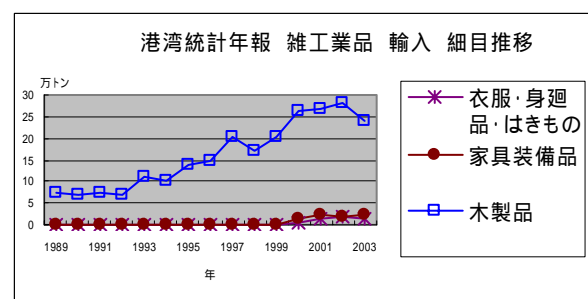
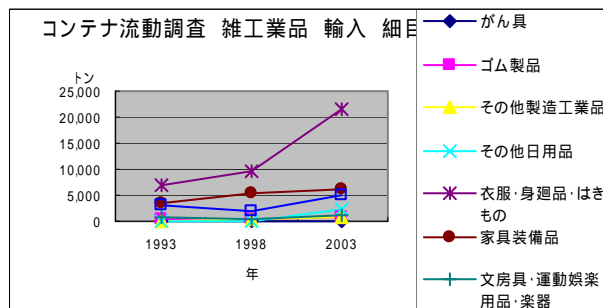
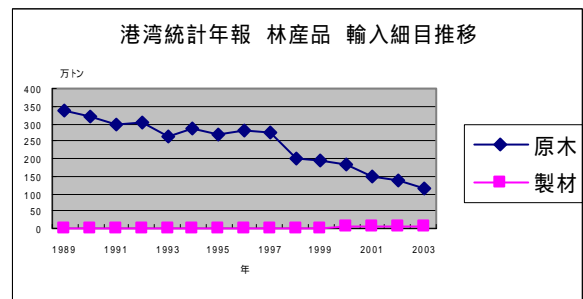
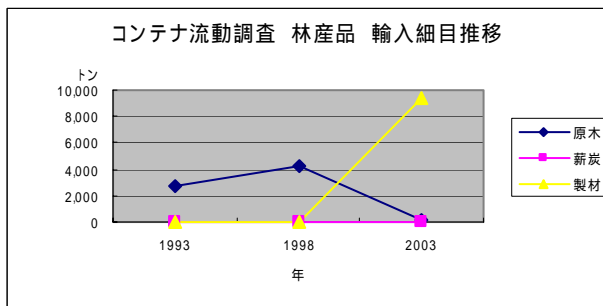
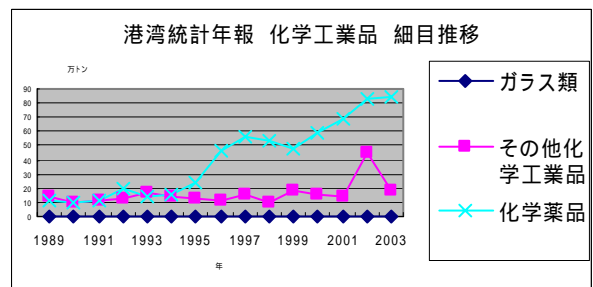
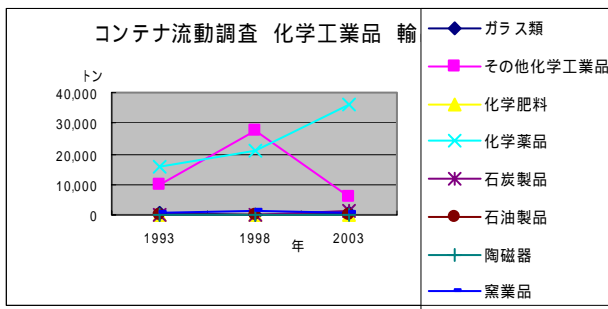
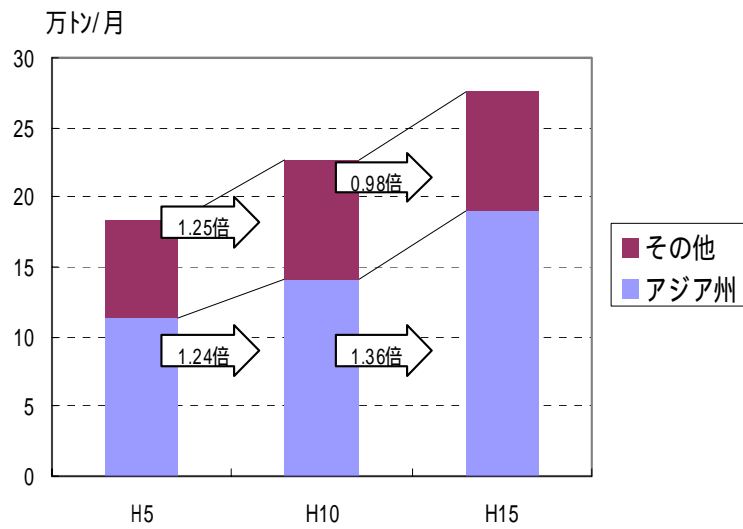


図 - 3.5 四国生産・消費品目別コンテナ貨物量

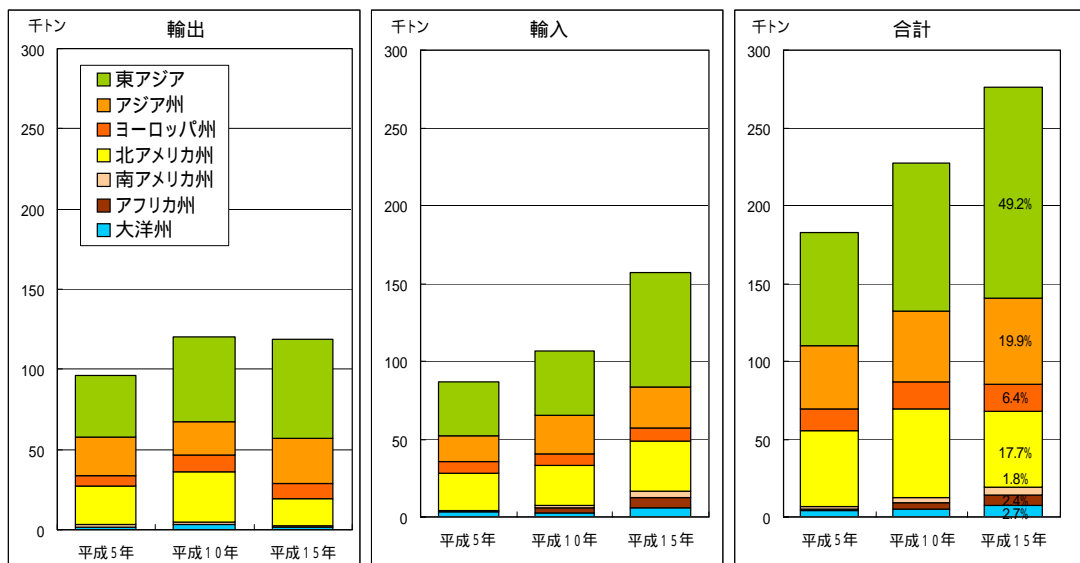
生産・消費コンテナ貨物の発着方面別

四国生産・消費コンテナ貨物を発着地別に見るとアジア方面が伸びている。



資料：全国輸出入コンテナ貨物流動調査（1ヶ月調査）

図 - 3.6 四国で生産・消費されるコンテナ貨物量の推移



資料：全国輸出入コンテナ貨物流動調査（1ヶ月調査）

図 - 3.7 四国生産・消費仕向国・原産国別コンテナ貨物量

## 2) 将来推計

### 推計フロー

四国における東アジアとの外貿コンテナ航路開設の可能性を検討するにあたり、「2003年外貿コンテナ貨物量調査」をベースに推計作業を行った。

1月間調査の値を全国平均により、年換算、TEU換算を行い、航路成立条件、釜山港でのトランシップ（積替え）比率を考慮することにより、2003年における四国の東アジア方面のコンテナ航路数を、全て直行のケースと釜山トランシップのケースで算出した。

2011年と2016年については、別途、当該年度の貨物量推計を行った上で、国別配分を経て、東アジア方面のコンテナ貨物量を推計し、2003年と同様に、四国の東アジア方面のコンテナ航路数を、全て直行のケースと釜山トランシップのケースで算出した。

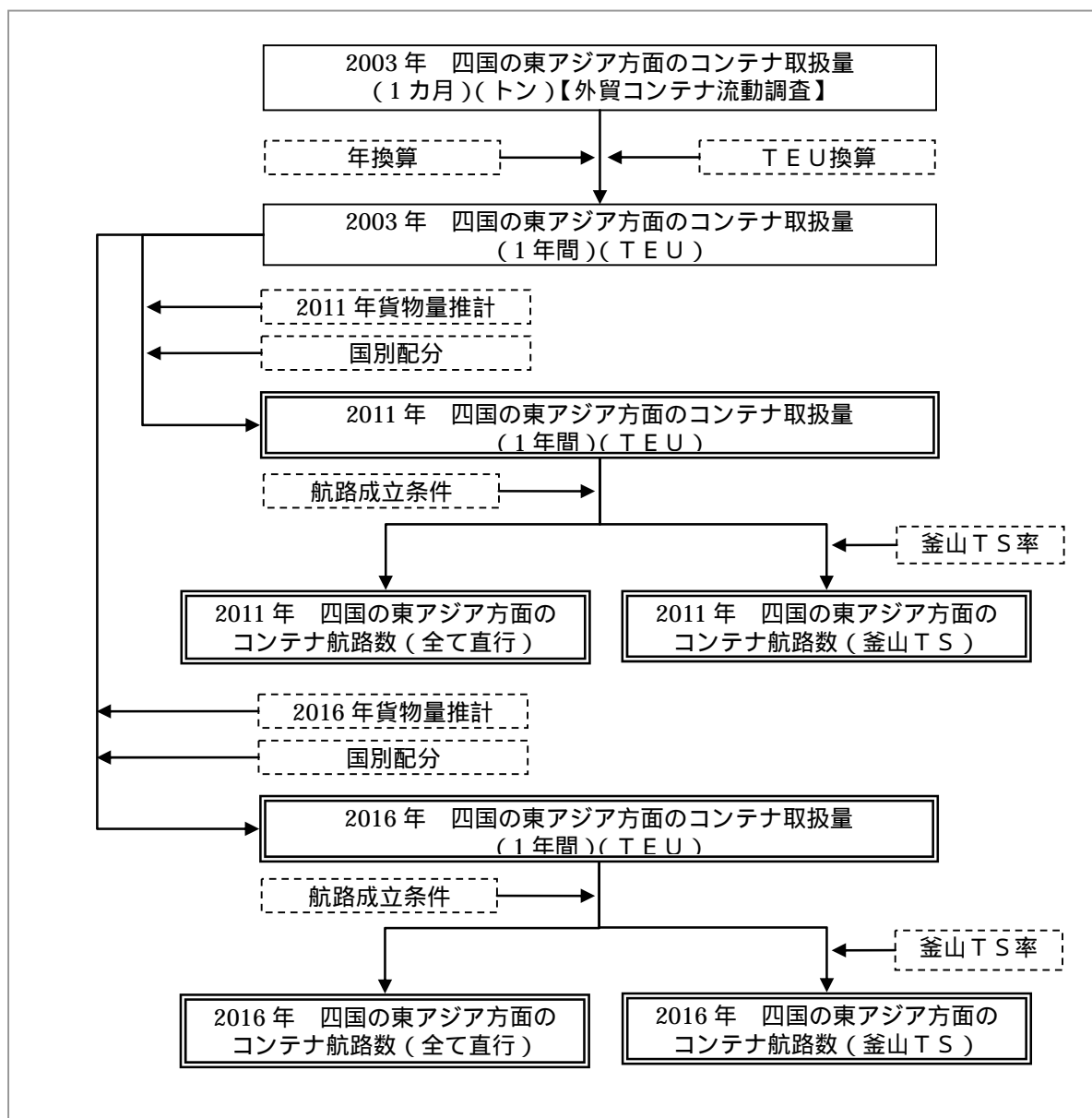


図 - 3.8 推計フロー

### 四国生産・消費コンテナ貨物量の将来推計

品目別の推計は増加要因も様々であり推計が困難なため、ここでは発着方面別に、東アジア、アジア州が今後も経済成長が続き、これに伴い貨物量も増加すると仮定し、コンテナ流動調査の結果を基に、四国生産消費外貿コンテナ貨物量について回帰分析により推計を行った。

TEU換算率については、港湾統計（H15）のコンテナ個数及びコンテナ貨物のトン数から換算し、輸出貨物については（18.7）、輸入貨物は（18.1）とした。

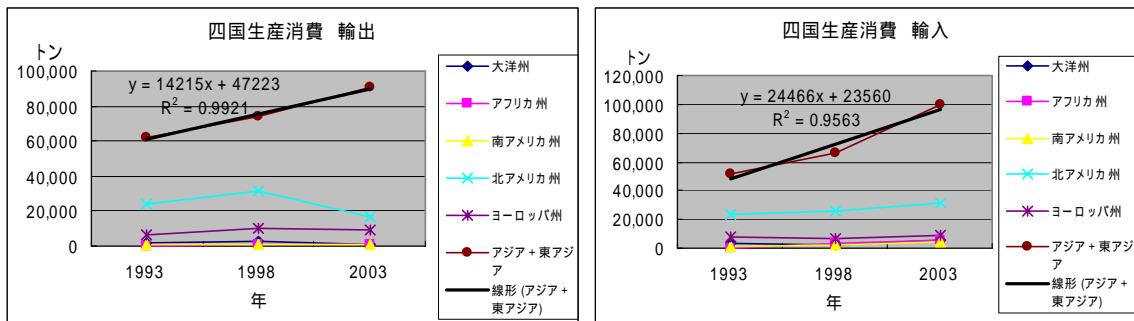


図 - 3.9 四国の生産・消費貨物量の推移（トン）

### 【推計の仮定】

- ・ アジア、東アジアは過去10年の伸び方で今後も伸びると仮定
- ・ その他の地域は現状のまま"

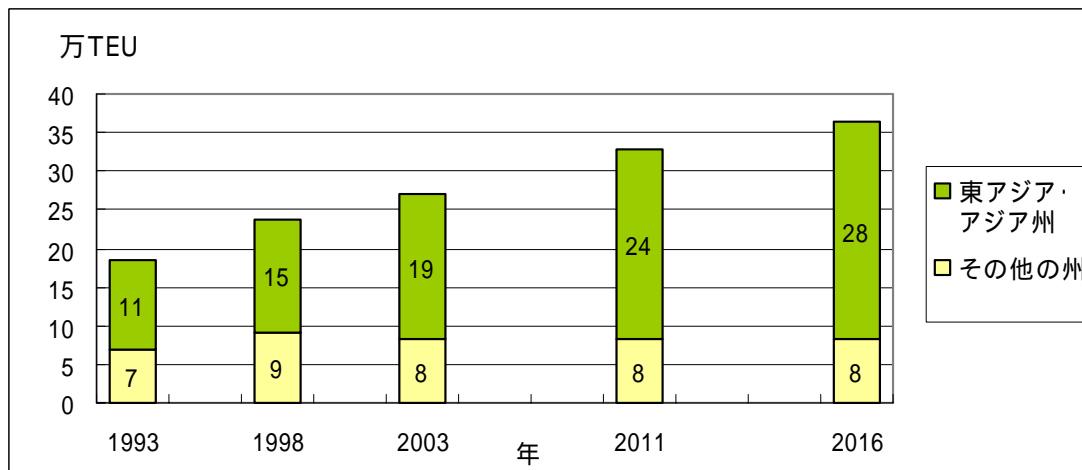


図 - 3.10 四国生産・消費コンテナ貨物量将来推計

これより、5年後の2011年には四国生産・消費外貿コンテナ貨物量は約32万TEU、10年後の2016年には四国生産消費外貿コンテナ貨物量は約36万TEUとなる。また四国生産消費外貿コンテナ貨物量に占める東アジア、アジア州向け貨物の割合は2011年で78%程度、2016年で80%程度となる。

### 四国港湾取扱率の将来推計

次に、四国生産・消費外貿コンテナ貨物の方面別の四国港湾取扱率について推計をする。生産・消費貨物量と同様に東アジア、アジア州向けの四国取扱率は過去10年の推移で伸び、他方面向け貨物は変化無しと仮定し、回帰分析により2011年及び2016年における取扱率を推計した。

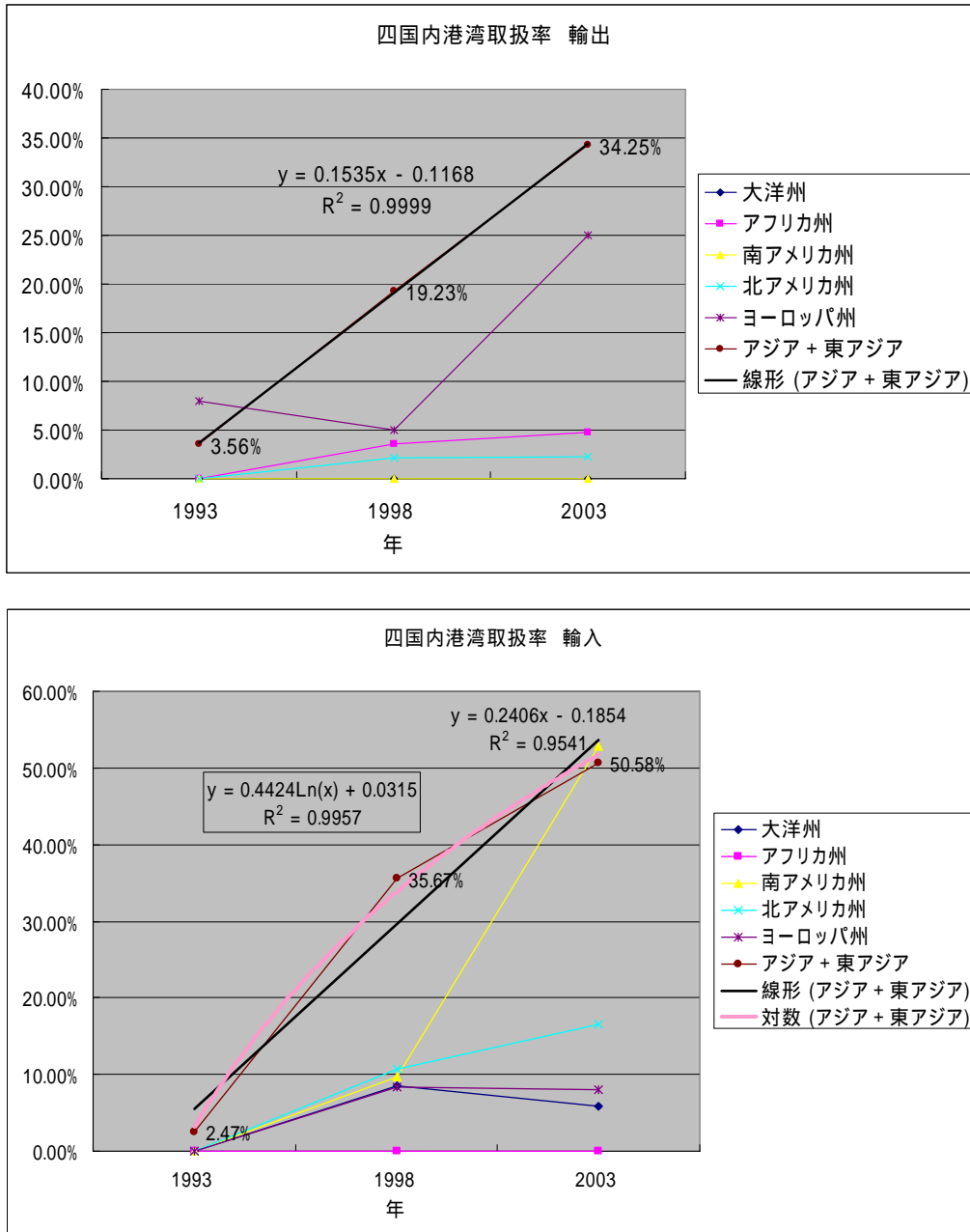


図 - 3.11 四国内港湾取扱率

四国港湾取扱貨物量の将来推計

各推計結果より、四国港湾取扱コンテナ貨物量は、2011年で約17万TEU、2016年で約23万TEU程度になると想定される。

【推計の仮定】

- ・アジア、東アジアは過去10年の伸びで今後も伸びると仮定
- ・その他の地域は現状のまま"

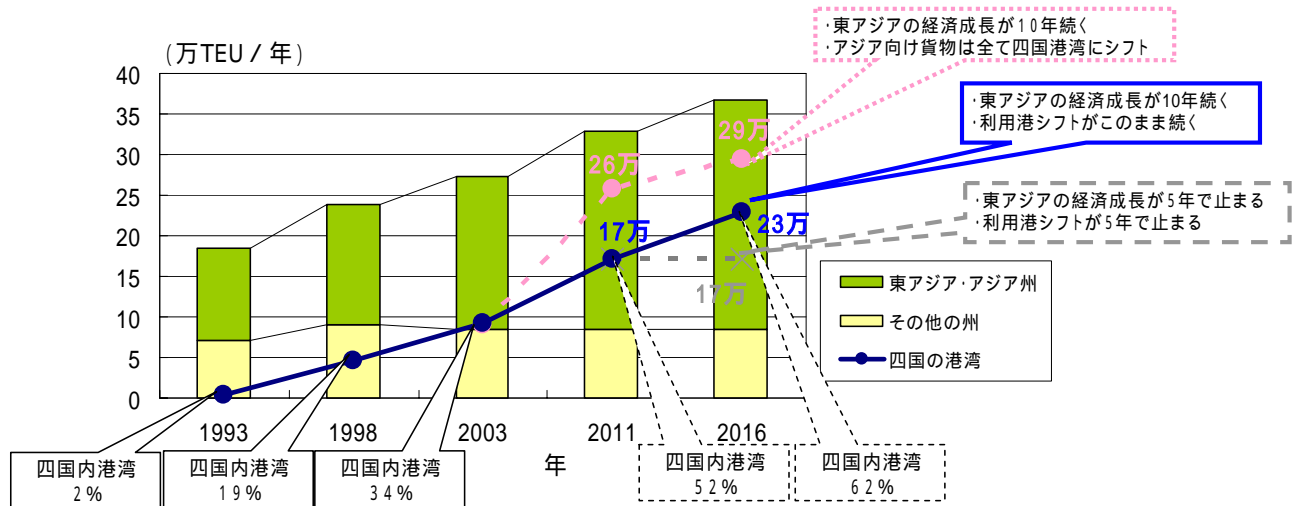


図 - 3.12 四国港湾取扱貨物量の将来推計

結果2011年の四国港湾利用率は 52%、2016年は 62%程度となる。

表 - 3.1 四国港湾取扱貨物量の将来推計

|             | 2003    | 2011                        | 2016                        |
|-------------|---------|-----------------------------|-----------------------------|
| A 東アジア・アジア州 | 187,503 | 245,333                     | 283,499                     |
| B その他の州     | 83,876  | 84,234                      | 84,234                      |
| 四国の港湾       | 90,934  | (A + B) × 0.52<br>= 171,375 | (A + B) × 0.62<br>= 227,994 |
| アジア方面       | 90,934  | (A + B) × 0.78<br>= 257,062 | (A + B) × 0.80<br>= 294,186 |

3) 推計まとめ

アジア方面コンテナ貨物が今後も伸び、四国港湾利用率も続く場合

- a . 2011年(5年後) 32万TEU アジア方面 26万TEU(78%)  
四国内港湾17万TEU(52%)
- b . 2016年(10年後) 36万TEU アジア方面 29万TEU(80%)  
四国内港湾23万TEU(62%)

アジア方面コンテナ貨物、四国港湾利用率が5年間伸びた後止まった場合

- c . 2011年(5年後)、2016年(10年後)ともに上記aとなる。



(2) 航路就航のために必要なコンテナ数

外貿コンテナ船社に対する、「ある港湾に外貿コンテナ船が寄港するかどうか」についてのヒアリング調査によれば、ポイントは、「投入する船舶に見合った、一定量以上の貨物があれば寄港する」というものである。その具体的な内容は、以下の点である。

- ・ 1寄港あたり（若しくは年間）の実入り貨物量
- ・ 輸出貨物量の多さ（空コンテナの少なさ）

釜山航路で350TEU、3～4港、中国航路で650TEU、3～5港、東南アジア航路で800TEU、5～6港程度の積載能力の船舶、寄港港湾数、及び、コンテナ航路の基本的なサービス頻度である週1便（年間52寄港）を前提として、1寄港あたり、釜山航路50TEU、中国航路100TEU、東南アジア航路100TEU以上の実入りコンテナ貨物量の集荷が寄港のための基本的な寄港条件となる。

表 - 3.2 コンテナ航路の成立要件について

|         |    | 想定船型    | 寄港数          | 必要貨物量  |           | それ以外の要件               |
|---------|----|---------|--------------|--------|-----------|-----------------------|
|         |    |         |              | 1寄港    | 年間        |                       |
| 釜山航路    |    | 350TEU  | 3～4<br>(国内)  | 50TEU  | 2,600TEU  | 輸出貨物のあること（輸出入バランスの良さ） |
| 中国      |    | 650TEU  | 3～5<br>(国内)  | 100TEU | 5,200TEU  |                       |
| 東南アジア航路 |    | 800TEU  | 5～6<br>(国内)  | 100TEU | 5,200TEU  |                       |
| 基幹航路    | 北米 | 4300TEU | 5～6<br>(アジア) | 600TEU | 31,200TEU |                       |
|         | 欧州 | 5700TEU | 6～7<br>(アジア) | 650TEU | 33,800TEU |                       |

注1：上記の寄港条件の根拠は、韓国、中国、東南アジア船社へのヒアリング調査による。  
（下関市「平成16年度 下関港(新港地区)構造改革特区等実施調査報告書」）

注2：想定船型、寄港（港湾）数は、四国に寄港している航路（2006.10.現在）より。

注3：必要貨物量は、実入りのコンテナの貨物量。

船舶には、実入りとともに空コンテナが揚げ積みされる。

注4：輸出入バランスとは、実入りの輸出貨物と輸入貨物の比率。

1：1が理想だが、輸出貨物が多い港湾と輸入超過の港湾とを組み合わせると航路を組み立てることが多い。

四国港湾は輸入超過型のため、輸出貨物のある山陽側港湾（水島港、宇部港、岩国港等）と組み合わせると航路開設になることが多い。

注5：1寄港当たりの必要貨物量は、週1回寄港を前提。

年間必要貨物量は、52週（52寄港）分とする。

注6：基幹航路の想定船型については、「国際輸送ハンドブック」より国土交通省港湾局が算出した平均船型を使用。必要貨物量に関しては、消席率を70%と設定して算出。

(3) 就航可能航路の推計

1) 四国のアジア方面のコンテナ貨物量(年間)

四国の(アジア)方面別の貨物量推計(2003年)

|          | 年間推計値 (TEU) |        |        |
|----------|-------------|--------|--------|
|          | 輸出          | 輸入     | 計      |
| 韓国       | 5,628       | 9,419  | 15,047 |
| 中国       | 31,365      | 43,679 | 75,044 |
| 東南アジア・台湾 | 28,002      | 19,750 | 47,753 |

資料:「コンテナ流動調査(2003年)」より推計

注1:中国には香港を含む

注2:換算率は、「港湾統計(年報)平成15年」より算出。

|            | 輸出    | 輸入    |
|------------|-------|-------|
| 年間換算率(全国)  | 14.17 | 13.75 |
| トン/TEU(全国) | 18.7  | 18.1  |

2) 方面別の航路成立数

2003年、2011年、2016年に四国で発生集中した東アジアとのコンテナ貨物量を対象に、コンテナ航路の成立可能性を整理した。東アジア以外の貨物については、全て阪神港で扱うものとして航路数の推計をしている。(東アジア以外の貨物の釜山トランシップはなし)

参考として、現在の就航している航路数を以下に示す。

<参考:2006年10月現在の航路数>

|          | 航路開設数<br>(便/週) | 内訳  |
|----------|----------------|---|
| 韓国       | 16             | 徳島小松島港(2便)、高松港(3便)、松山港(4便)、三島川之江港(2便)、今治港(4便)、高知港(1便) |
| 中国       | 3              | 高松港(2便)、松山港(1便)                                       |
| 東南アジア・台湾 | 3              | 松山港(3便)   |
| 合計       | 22             |   |

東アジア向けの全ての貨物を四国内港湾で扱う場合

. 2011 年

全て直航のケース

|          | 年間推計値<br>(TEU) | 航路開設条件<br>(TEU / 年) | 航路開設数<br>(便 / 週) |
|----------|----------------|---------------------|------------------|
| 韓国       | 19,818         | 2,600               | 7                |
| 中国       | 98,447         | 5,200               | 1 8              |
| 東南アジア・台湾 | 61,692         | 5,200               | 1 1              |
| 合計       |                |                     | 3 6              |

釜山トランシップを想定したケース

|                      | 年間推計値 (TEU) | 航路開設条件<br>(TEU / 年) | 航路開設数の<br>最大値 |
|----------------------|-------------|---------------------|---------------|
| 韓国                   | 19,818      | 合計 71,346           | 2 7           |
| 釜山トランシップ 中国          | 34,088      |                     |               |
| 釜山トランシップ<br>東南アジア・台湾 | 17,440      |                     |               |
| 中国                   | 64,359      | 5,200               | 1 2           |
| 東南アジア・台湾             | 44,252      | 5,200               | 8             |
| 合計                   |             |                     | 4 7           |

注：釜山港取扱量のうち、韓国貨物と中国貨物と東南アジア・台湾向け貨物の割合は「韓国：中国：東南アジア・台湾 = 25：43：22」とする。

(現在の釜山港取扱量の割合より < H16 報告書 P65 より > )

. 2016 年

全て直航のケース

|          | 年間推計値<br>(TEU) | 航路開設条件<br>(TEU / 年) | 航路開設数<br>(便 / 週) |
|----------|----------------|---------------------|------------------|
| 韓国       | 23,006         | 2,600               | 8                |
| 中国       | 114,057        | 5,200               | 2 1              |
| 東南アジア・台湾 | 70,919         | 5,200               | 1 3              |
| 合計       |                |                     | 4 2              |

釜山トランシップを想定したケース

|                                   | 年間推計値 (TEU) |           | 航路開設条件<br>(TEU / 年) | 航路開設数の<br>最大値 |
|-----------------------------------|-------------|-----------|---------------------|---------------|
| 韓国                                | 23,006      | 合計 82,822 | 2,600               | 3 1           |
| 釜山トランシップ <sup>o</sup> 中国          | 39,571      |           |                     |               |
| 釜山トランシップ <sup>o</sup><br>東南アジア・台湾 | 20,245      |           |                     |               |
| 中国                                | 74,486      |           | 5,200               | 1 4           |
| 東南アジア・台湾                          | 50,674      |           | 5,200               | 9             |
| 合計                                |             |           |                     | 5 4           |

注：釜山港取扱量のうち、韓国貨物と中国貨物と東南アジア・台湾向け貨物の割合は「韓国：中国：東南アジア・台湾 = 25：43：22」とする。  
(現在の釜山港取扱量の割合より < H16 報告書 P65 より > )

東アジア向けの貨物の四国内港湾での取扱い割合が現状値から拡大していく場合

. 2011 年

全て直航のケース

|          | 年間推計値<br>(TEU) | 航路開設条件<br>(TEU / 年) | 航路開設数<br>(便 / 週) |
|----------|----------------|---------------------|------------------|
| 韓国       | 23,500         | 2,600               | 8                |
| 中国       | 56,285         | 5,200               | 1 0              |
| 東南アジア・台湾 | 40,301         | 5,200               | 7                |
| 合計       |                |                     | 2 5              |

釜山トランシップを想定したケース

|                                   | 年間推計値 (TEU) |           | 航路開設条件<br>(TEU / 年) | 航路開設数の<br>最大値 |
|-----------------------------------|-------------|-----------|---------------------|---------------|
| 韓国                                | 23,500      | 合計 84,600 | 2,600               | 3 2           |
| 釜山トランシップ <sup>o</sup> 中国          | 40,420      |           |                     |               |
| 釜山トランシップ <sup>o</sup><br>東南アジア・台湾 | 20,680      |           |                     |               |
| 中国                                | 15,865      |           | 5,200               | 3             |
| 東南アジア・台湾                          | 19,621      |           | 5,200               | 3             |
| 合計                                |             |           |                     | 3 8           |

注：釜山港取扱量のうち、韓国貨物と中国貨物と東南アジア・台湾向け貨物の割合は「韓国：中国：東南アジア・台湾 = 25：43：22」とする。  
(現在の釜山港取扱量の割合より < H16 報告書 P65 より > )

. 2016 年

全て直航のケース

|          | 年間推計値<br>(TEU) | 航路開設条件<br>(TEU / 年) | 航路開設数<br>(便 / 週) |
|----------|----------------|---------------------|------------------|
| 韓国       | 31,985         | 2,600               | 1 2              |
| 中国       | 76,393         | 5,200               | 1 4              |
| 東南アジア・台湾 | 55,410         | 5,200               | 1 0              |
| 合計       |                |                     | 3 6              |

釜山トランシップを想定したケース

|                      | 年間推計値 (TEU) |            | 航路開設条件<br>(TEU / 年) | 航路開設数の<br>最大値 |
|----------------------|-------------|------------|---------------------|---------------|
| 韓国                   | 31,985      | 合計 115,146 | 2,600               | 4 4           |
| 釜山トランシップ 中国          | 55,014      |            |                     |               |
| 釜山トランシップ<br>東南アジア・台湾 | 28,147      |            |                     |               |
| 中国                   | 21,379      |            | 5,200               | 4             |
| 東南アジア・台湾             | 27,263      |            | 5,200               | 5             |
| 合計                   |             |            |                     | 5 3           |

注：釜山港取扱量のうち、韓国貨物と中国貨物と東南アジア・台湾向け貨物の割合は「韓国：中国：東南アジア・台湾 = 25：43：22」とする。

(現在の釜山港取扱量の割合より < H16 報告書 P65 より > )

推計の問題点

中国貨物の発生地、消費地の把握ができていないこと

コンテナ流動調査のデータでは、対象となる貨物が中国のどの地域で発生消費されたかの整理ができていないため、成立する航路数のうち、上海便、青島便、天津便、大連便などの本数の把握ができていない。よって、「5 航路以上開設可能」であっても、デイリー運航ができないことも考えられる。(例えば、上海3便、青島2便、天津1便、大連1便の計7便という可能性もある)

船舶の大型化などを考慮していないこと

昨今のアジア向けコンテナ船の動向を見ると、特に中国向け船舶について、大型化の傾向が見られるため、10年後に今回想定した船型の船舶以上のコンテナ船が主流になっていた場合には、当然の事ながら就航可能航路数は減少すると考えられる。

参考データ 1 : 四国発生消費貨物の原産国・仕向国別の貨物量

表 - 3.3 四国発生消費貨物の原産国・仕向国別の貨物量 (TEU)

| 生産・原産地 |          | 輸出     |         |         |         |        |        |         |        |         | 輸入     |         |        |         |        |        |         |         |          |
|--------|----------|--------|---------|---------|---------|--------|--------|---------|--------|---------|--------|---------|--------|---------|--------|--------|---------|---------|----------|
| 都道府県   | 地区       | 韓国     | 中国・香港   | 台湾      | 東南アジア   | その他アジア | 欧州     | 北米      | その他    | 合計      | 韓国     | 中国・香港   | 台湾     | 東南アジア   | その他アジア | 欧州     | 北米      | その他     | 合計       |
| 香川県    | 香川県西部    | 158.5  | 1177.8  | 373.3   | 599.6   | 10.7   | 154.7  | 435.8   | 38.1   | 2948.3  | 1126.2 | 3523.4  | 644.9  | 1083.6  | 125.5  | 90.4   | 1811.4  | 133.8   | 8539.2   |
| 香川県    | 香川県東部    | 17.5   | 144.7   | 6.9     | 102.1   | 25.1   | 216.4  | 25.1    | 1.5    | 539.4   | 192.8  | 6630.6  | 85.9   | 1315.2  | 305.6  | 125.5  | 446.1   | 77.7    | 9179.6   |
| 香川県    | 高松地区     | 446.4  | 1383.5  | 128.0   | 3512.8  | 1115.3 | 133.3  | 477.7   | 184.4  | 7381.4  | 1294.3 | 6186.8  | 227.2  | 1147.1  | 556.7  | 88.9   | 3548.8  | 3539.1  | 16588.9  |
| 香川県    | 坂出地区     | 170.6  | 2481.3  | 37.3    | 411.4   | 315.4  | 145.5  | 307.8   | 171.4  | 4040.7  | 414.7  | 2379.3  | 133.0  | 446.1   | 372.1  | 170.4  | 1102.2  | 17.2    | 5035.2   |
| 愛媛県    | 宇摩地区     | 127.2  | 3505.9  | 537.1   | 2706.8  | 124.2  | 76.2   | 83.0    | 64.8   | 7225.2  | 2173.1 | 2113.3  | 429.7  | 3650.5  | 94.2   | 479.8  | 2703.7  | 209.2   | 11853.4  |
| 愛媛県    | 宇和島地区    | 0.0    | 0.0     | 0.0     | 0.0     | 0.0    | 0.0    | 0.0     | 0.0    | 0.0     | 16.4   | 541.8   | 9.7    | 102.4   | 0.0    | 3.0    | 276.5   | 1150.8  | 2100.6   |
| 愛媛県    | 今治地区     | 3.0    | 1585.4  | 58.7    | 411.4   | 371.0  | 3.8    | 281.9   | 0.8    | 2715.9  | 245.9  | 2716.4  | 18.7   | 273.5   | 559.7  | 214.5  | 100.1   | 18.7    | 4147.4   |
| 愛媛県    | 松山地区     | 691.7  | 6100.0  | 4902.4  | 2610.0  | 277.3  | 3013.8 | 4087.2  | 186.6  | 21869.0 | 1494.6 | 3581.0  | 325.1  | 1037.2  | 63.5   | 410.3  | 5249.7  | 399.8   | 12561.1  |
| 愛媛県    | 新居浜地区    | 3057.2 | 8826.5  | 1938.9  | 2050.8  | 518.8  | 767.9  | 575.9   | 470.0  | 18206.2 | 408.0  | 654.6   | 272.8  | 246.6   | 0.0    | 473.8  | 402.8   | 3093.0  | 5551.6   |
| 愛媛県    | 東予地区     | 15.2   | 933.2   | 1186.2  | 1325.6  | 0.0    | 174.5  | 233.1   | 2.3    | 3870.1  | 163.7  | 1714.3  | 38.1   | 1968.3  | 89.7   | 177.1  | 3087.0  | 1042.5  | 8280.6   |
| 愛媛県    | 八幡浜・大洲地区 | 0.8    | 14.5    | 10.7    | 64.8    | 1.5    | 15.2   | 0.8     | 2.3    | 110.5   | 171.1  | 798.8   | 26.2   | 172.6   | 179.3  | 1079.8 | 732.3   | 38.9    | 3199.1   |
| 高知県    | 安芸地区     | 38.9   | 42.7    | 0.0     | 0.8     | 0.0    | 0.0    | 0.0     | 0.0    | 82.3    | 0.0    | 100.1   | 0.0    | 0.0     | 0.0    | 0.0    | 0.0     | 15.7    | 115.8    |
| 高知県    | 高知地区     | 373.3  | 601.8   | 316.9   | 530.2   | 85.3   | 87.6   | 340.5   | 25.9   | 2361.7  | 277.2  | 3501.8  | 40.4   | 930.4   | 199.5  | 1295.0 | 432.7   | 502.9   | 7179.9   |
| 高知県    | 高幡地区     | 155.4  | 92.9    | 0.0     | 82.3    | 0.0    | 2.3    | 35.8    | 17.5   | 386.2   | 0.0    | 113.6   | 1.5    | 0.0     | 0.0    | 0.0    | 8.2     | 0.0     | 123.3    |
| 高知県    | 幡多地区     | 2.3    | 0.0     | 0.0     | 30.5    | 0.0    | 19.8   | 1.5     | 0.0    | 54.1    | 10.5   | 86.7    | 123.3  | 14.9    | 3.7    | 0.0    | 400.5   | 0.0     | 639.7    |
| 徳島県    | 徳島県西部    | 5.3    | 80.8    | 0.0     | 0.0     | 0.0    | 1038.4 | 3275.9  | 0.0    | 4400.3  | 4.5    | 91.9    | 4.5    | 72.5    | 0.0    | 0.0    | 226.4   | 0.0     | 399.8    |
| 徳島県    | 徳島県中部    | 3.0    | 105.1   | 0.0     | 90.7    | 0.0    | 1.5    | 3.0     | 0.0    | 203.4   | 14.9   | 765.2   | 0.0    | 68.0    | 0.0    | 81.5   | 3.0     | 18.7    | 951.3    |
| 徳島県    | 徳島県南部    | 111.2  | 2229.9  | 194.3   | 1609.7  | 214.8  | 41.9   | 1095.5  | 355.8  | 5853.1  | 488.7  | 631.5   | 0.0    | 1020.0  | 238.4  | 444.6  | 2404.8  | 1206.1  | 6434.1   |
| 徳島県    | 徳島県北部    | 59.4   | 86.8    | 19.8    | 590.4   | 131.0  | 447.2  | 722.2   | 181.3  | 2238.3  | 15.7   | 3129.6  | 293.7  | 2031.1  | 94.2   | 922.9  | 81.5    | 203.3   | 6771.9   |
| 徳島県    | 徳島地区     | 241.5  | 2136.9  | 444.1   | 1283.7  | 454.8  | 569.8  | 995.7   | 118.1  | 6244.7  | 674.0  | 3762.6  | 129.3  | 938.6   | 298.2  | 312.4  | 683.8   | 763.7   | 7562.5   |
| 大阪府    | その他      | 0.0    | 22.9    | 0.0     | 0.0     | 0.0    | 0.0    | 0.0     | 0.0    | 22.9    | 0.0    | 0.0     | 0.0    | 0.0     | 0.0    | 0.0    | 0.0     | 0.0     | 0.0      |
| 兵庫県    | その他      | 0.8    | 0.0     | 0.0     | 0.0     | 0.0    | 0.0    | 0.0     | 0.0    | 0.8     | 0.0    | 0.0     | 0.0    | 0.0     | 0.0    | 0.0    | 0.0     | 0.0     | 0.0      |
| 東京都    | その他      | 0.0    | 0.0     | 0.0     | 0.0     | 0.0    | 0.0    | 0.0     | 0.0    | 0.0     | 23.9   | 0.0     | 0.0    | 0.0     | 0.0    | 0.0    | 0.0     | 0.0     | 23.9     |
| 広島県    | その他      | 0.0    | 0.0     | 0.0     | 0.0     | 0.0    | 0.0    | 0.0     | 0.0    | 0.0     | 0.0    | 0.0     | 84.4   | 17.9    | 0.0    | 7.5    | 0.0     | 0.0     | 109.9    |
| 合計     |          | 5679.4 | 31552.6 | 10154.4 | 18013.4 | 3645.3 | 6909.8 | 12978.5 | 1820.8 | 90754.3 | 9210.3 | 43023.3 | 2888.2 | 16536.6 | 3180.4 | 6377.3 | 23701.6 | 12431.0 | 117348.8 |

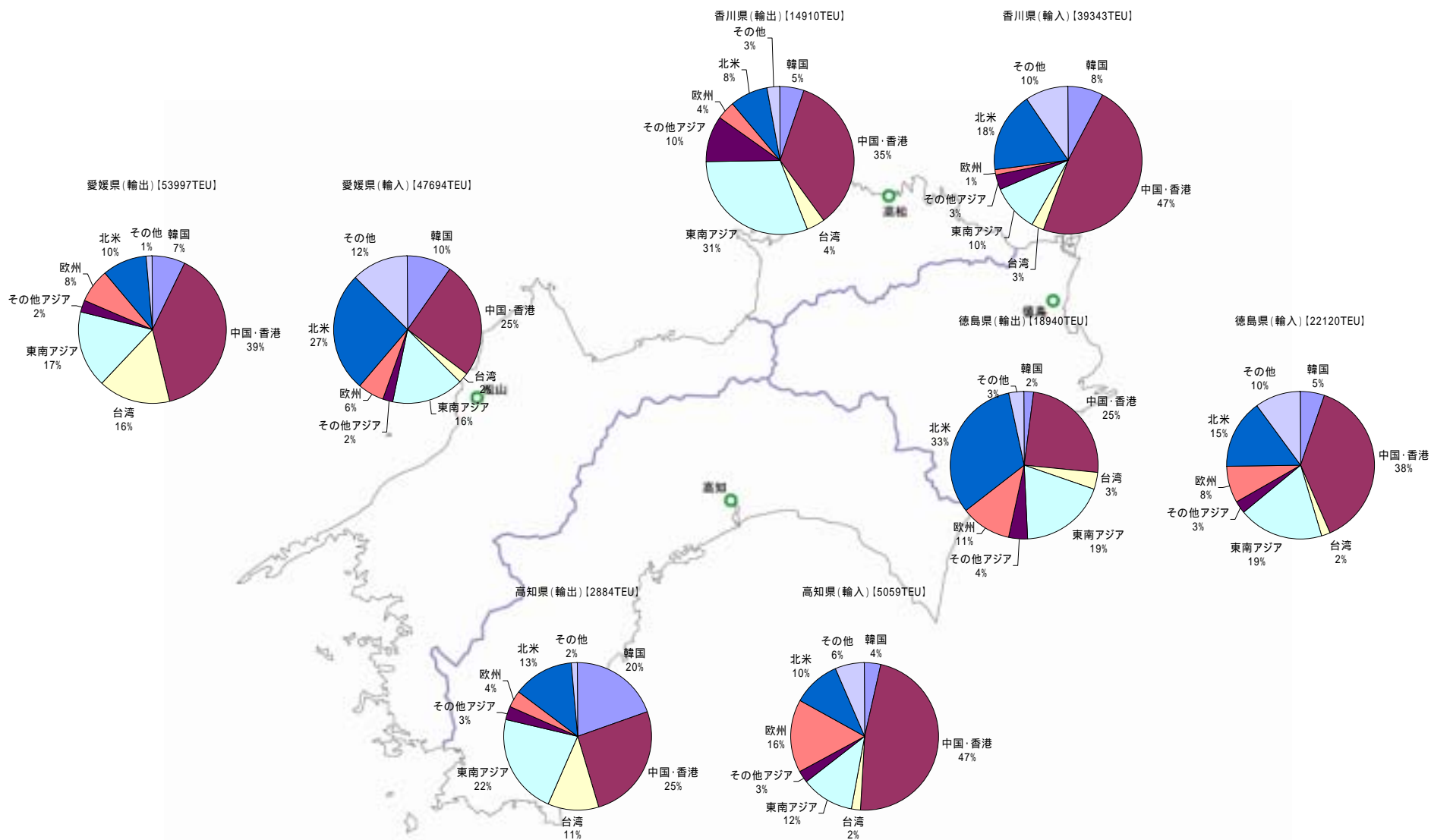


図 - 3.13 四国発生消費貨物の原産国・仕向国別の貨物量 (TEU)

参考データ 2 : 四国港湾利用貨物の原産国・仕向国別の貨物量

表 - 3.4 四国港湾利用貨物の原産国・仕向国別の貨物量 (TEU)

| 生産・原産地 |          | 輸出     |        |        |        |        |        |       |      |         | 輸入     |         |       |        |        |       |        |        |         |
|--------|----------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|-------|------|---------|--------|---------|-------|--------|--------|-------|--------|--------|---------|
| 都道府県   | 地区       | 韓国     | 中国・香港  | 台湾     | 東南アジア  | その他アジア | 欧州     | 北米    | その他  | 合計      | 韓国     | 中国・香港   | 台湾    | 東南アジア  | その他アジア | 欧州    | 北米     | その他    | 合計      |
| 香川県    | 香川県西部    | 0.0    | 286.4  | 0.0    | 66.3   | 0.0    | 0.0    | 0.0   | 0.0  | 352.7   | 1126.2 | 407.3   | 22.4  | 13.5   | 0.0    | 0.0   | 0.0    | 0.0    | 1569.3  |
| 香川県    | 香川県東部    | 17.5   | 0.0    | 0.0    | 0.0    | 0.0    | 0.0    | 0.0   | 0.0  | 17.5    | 159.2  | 4046.5  | 0.0   | 1234.5 | 112.8  | 0.0   | 0.0    | 0.0    | 5553.1  |
| 香川県    | 高松地区     | 3.0    | 320.0  | 16.8   | 28.2   | 0.0    | 0.0    | 0.0   | 0.0  | 368.0   | 705.4  | 2638.7  | 21.7  | 238.4  | 93.4   | 0.0   | 0.7    | 0.0    | 3698.3  |
| 香川県    | 坂出地区     | 118.1  | 481.5  | 0.0    | 38.9   | 0.0    | 0.0    | 0.0   | 0.0  | 638.4   | 413.2  | 738.3   | 24.7  | 270.5  | 372.1  | 17.9  | 0.0    | 0.0    | 1836.8  |
| 愛媛県    | 宇摩地区     | 88.4   | 620.9  | 241.5  | 684.9  | 0.0    | 0.0    | 0.0   | 0.0  | 1635.6  | 2005.7 | 1210.6  | 405.8 | 1659.0 | 0.0    | 116.6 | 1251.7 | 18.7   | 6668.0  |
| 愛媛県    | 宇和島地区    | 0.0    | 0.0    | 0.0    | 0.0    | 0.0    | 0.0    | 0.0   | 0.0  | 0.0     | 1.5    | 418.5   | 0.0   | 0.0    | 0.0    | 0.0   | 0.0    | 926.6  | 1346.6  |
| 愛媛県    | 今治地区     | 3.0    | 942.4  | 28.2   | 28.9   | 371.0  | 0.0    | 0.0   | 0.0  | 1373.6  | 243.6  | 1700.1  | 0.0   | 125.5  | 57.5   | 29.9  | 9.7    | 18.7   | 2185.1  |
| 愛媛県    | 松山地区     | 608.7  | 1869.5 | 4433.1 | 1612.0 | 15.2   | 1663.8 | 298.6 | 0.0  | 10501.0 | 981.9  | 1791.2  | 255.6 | 763.7  | 59.8   | 58.3  | 2145.4 | 265.3  | 6321.3  |
| 愛媛県    | 新居浜地区    | 2739.5 | 2399.0 | 67.0   | 616.3  | 16.8   | 49.5   | 0.0   | 0.0  | 5888.2  | 369.9  | 184.6   | 0.0   | 82.2   | 0.0    | 109.1 | 0.0    | 0.0    | 745.8   |
| 愛媛県    | 東予地区     | 15.2   | 242.3  | 81.5   | 867.7  | 0.0    | 0.0    | 0.0   | 0.0  | 1206.7  | 144.2  | 594.1   | 0.0   | 1802.4 | 0.0    | 0.0   | 0.0    | 0.0    | 2540.8  |
| 愛媛県    | 八幡浜・大洲地区 | 0.0    | 7.6    | 1.5    | 3.8    | 0.0    | 0.0    | 0.0   | 0.0  | 13.0    | 159.9  | 571.7   | 26.2  | 170.4  | 179.3  | 0.0   | 0.0    | 0.0    | 1107.5  |
| 高知県    | 安芸地区     | 38.9   | 0.0    | 0.0    | 0.0    | 0.0    | 0.0    | 0.0   | 0.0  | 38.9    | 0.0    | 100.1   | 0.0   | 0.0    | 0.0    | 0.0   | 0.0    | 0.0    | 100.1   |
| 高知県    | 高知地区     | 269.7  | 116.6  | 137.9  | 158.5  | 36.6   | 0.0    | 0.0   | 0.0  | 719.2   | 248.1  | 1502.8  | 28.4  | 695.0  | 104.6  | 52.3  | 243.6  | 50.1   | 2924.9  |
| 高知県    | 高幡地区     | 155.4  | 17.5   | 0.0    | 82.3   | 0.0    | 0.0    | 0.0   | 0.0  | 255.2   | 0.0    | 41.8    | 0.0   | 0.0    | 0.0    | 0.0   | 0.0    | 0.0    | 41.8    |
| 高知県    | 幡多地区     | 0.0    | 0.0    | 0.0    | 0.0    | 0.0    | 0.0    | 0.0   | 0.0  | 0.0     | 10.5   | 32.9    | 0.0   | 0.0    | 0.0    | 0.0   | 0.0    | 0.0    | 43.3    |
| 徳島県    | 徳島県西部    | 0.0    | 80.0   | 0.0    | 0.0    | 0.0    | 0.0    | 0.0   | 0.0  | 80.0    | 4.5    | 20.2    | 0.0   | 3.0    | 0.0    | 0.0   | 71.0   | 0.0    | 98.6    |
| 徳島県    | 徳島県中部    | 1.5    | 83.8   | 0.0    | 6.9    | 0.0    | 0.0    | 0.0   | 0.0  | 92.2    | 14.2   | 192.1   | 0.0   | 37.4   | 0.0    | 0.0   | 0.0    | 0.0    | 243.6   |
| 徳島県    | 徳島県南部    | 98.3   | 12.2   | 16.0   | 37.3   | 0.0    | 15.2   | 0.0   | 0.0  | 179.0   | 305.6  | 154.7   | 0.0   | 6.7    | 0.0    | 12.0  | 0.0    | 600.1  | 1079.1  |
| 徳島県    | 徳島県北部    | 0.0    | 0.0    | 0.0    | 51.0   | 0.0    | 0.0    | 0.0   | 19.0 | 70.1    | 9.7    | 750.3   | 38.9  | 1180.0 | 74.7   | 24.7  | 43.3   | 0.0    | 2121.5  |
| 徳島県    | 徳島地区     | 134.8  | 1257.0 | 13.7   | 854.0  | 0.0    | 0.0    | 0.0   | 0.0  | 2259.6  | 609.8  | 2127.5  | 60.5  | 600.1  | 232.4  | 85.2  | 150.2  | 156.2  | 4021.9  |
| 大阪府    | その他      | 0.0    | 22.9   | 0.0    | 0.0    | 0.0    | 0.0    | 0.0   | 0.0  | 22.9    | 0.0    | 0.0     | 0.0   | 0.0    | 0.0    | 0.0   | 0.0    | 0.0    | 0.0     |
| 兵庫県    | その他      | 0.8    | 0.0    | 0.0    | 0.0    | 0.0    | 0.0    | 0.0   | 0.0  | 0.8     | 0.0    | 0.0     | 0.0   | 0.0    | 0.0    | 0.0   | 0.0    | 0.0    | 0.0     |
| 東京都    | その他      | 0.0    | 0.0    | 0.0    | 0.0    | 0.0    | 0.0    | 0.0   | 0.0  | 0.0     | 23.9   | 0.0     | 0.0   | 0.0    | 0.0    | 0.0   | 0.0    | 0.0    | 23.9    |
| 広島県    | その他      | 0.0    | 0.0    | 0.0    | 0.0    | 0.0    | 0.0    | 0.0   | 0.0  | 0.0     | 0.0    | 0.0     | 84.4  | 17.9   | 0.0    | 7.5   | 0.0    | 0.0    | 109.9   |
| 合計     |          | 4292.9 | 8759.5 | 5037.2 | 5137.0 | 439.6  | 1728.6 | 298.6 | 19.0 | 25712.5 | 7537.1 | 19223.8 | 968.5 | 8900.1 | 1286.8 | 513.4 | 3915.8 | 2035.6 | 44381.1 |



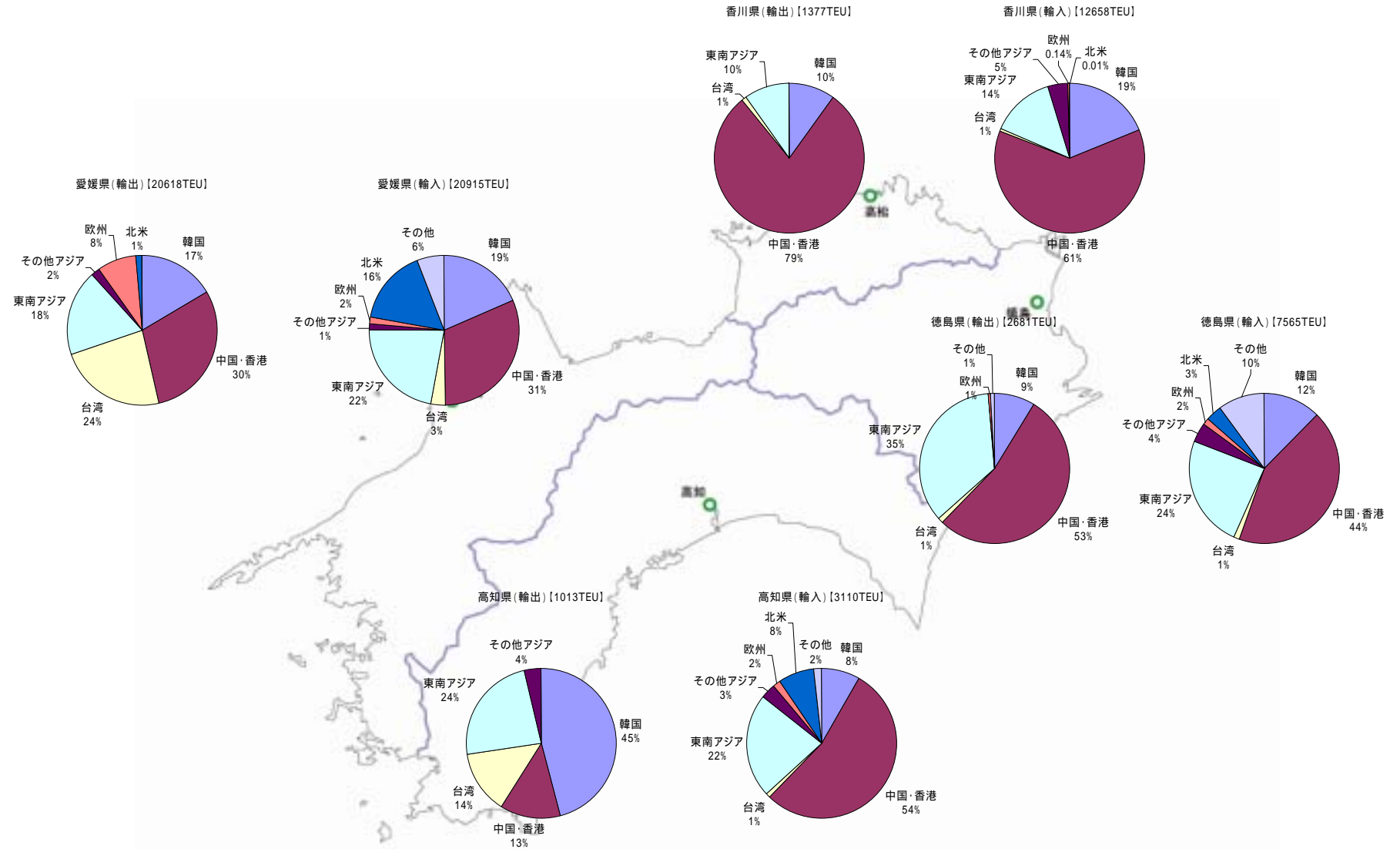


図 - 3.14 四国港湾利用貨物の原産国・仕向国別の貨物量 (TEU)